

5月新着おすすめ本



語学の天才まで1億光年

高野 秀行(著)

語学は魔法の剣!
学んだ言語は25以上!
辺境ノンフィクション作家による、
超ド級・語学青春記。

(Amazonより)

804

TA



若者たちの生きづらさ

不確実なこの社会で

いかに伴走するか

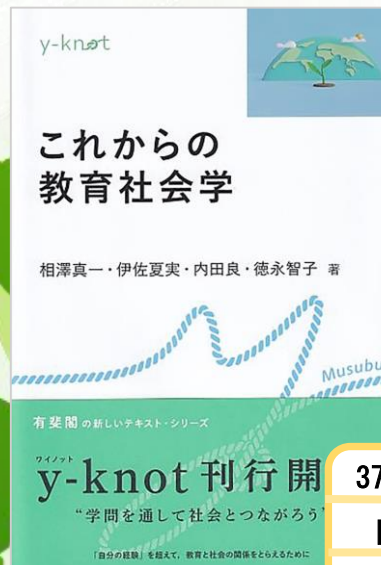
石垣 琢磨 (編集)

先行きの見えないこの社会で若者たちを絶望させないために私たちには何ができるだろう。彼らの成長と幸福のための支援を考える。

(Amazonより)

367.68

WA



これからの教育社会学

相澤 真一・伊佐 夏実・内田 良・徳永 智子(著)

いじめや不登校、貧困家庭や移民の子どもの教育など、さまざまな課題を社会学の知識や概念で見直すと、何がみえてくるのか。教職を志す人をはじめ、広く教育問題に関心がある人におすすめの新しい入門テキスト。

(Amazonより)

371.3

KO



歎異抄

一心に刺さるメッセージ

田代 俊孝(著)

何度読んでも新たな感動を呼ぶ『歎異抄』の魅力とは。人間性回復の宗教書として『歎異抄』を読み解く。

(仁愛大学関連出版物)

188.743

TA

5月新着おすすめ本



図書館にまいこんだ こどもの大質問

こどもの大質問編集部 (編集)

かわいい質問・疑問・難問からはじまった、図書館司書さんたちのていねいでマジメな奮闘記59話。全国各地の図書館のユニークなレファレンス事例を、描き下ろしイラストとともに楽しく紹介します。

(Amazonより)

015.2
TO



マンガ ぼけ日和

矢部 太郎 (著) ・長谷川 嘉哉 (原案)

認知症の症状の進行具合を四季に分けて、それぞれの時期に認知症患者さんにどんな変化が起こり、介護者さんはどう対応したら良いのかがわかる構成。笑って、泣けて、不安がやわらぐ本です。

(Amazonより)

726.1
YA



われら闇より天を見る

クリス ウィタカー (著) ・鈴木 恵 (翻訳)

今年絶対に見逃せないミステリー。海沿いの町ケープ・ハイヴン。30年前にひとりの少女命を落とした事件は、いまなお町に暗い影を落としている。自称無法者の少女ダッチェスは、30年前の事件から立ち直れずにいる母親と、まだ幼い弟とともに世の理不尽に抗いながら懸命に日々を送っていた。

(Amazonより)

933.7
WH



東南アジア式「まあいっか」で 楽に生きる本

野本 響子 (著)

この本は、日本がなんだか辛いな、苦しいなと思っている方のための本です。野本さんはマレーシアに家族で移住して10年。いまは海外教育や海外移住について書いたコラムやラジオ、講演会で大人気です。

(Amazonより)

302.239
NO



専門書だけじゃない！

大学図書館には 話題の小説もたくさんあります

5月新着本ぜひ手に取ってみてください♪



仁愛大学附属図書館